

昭和女子大学

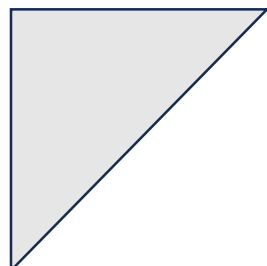
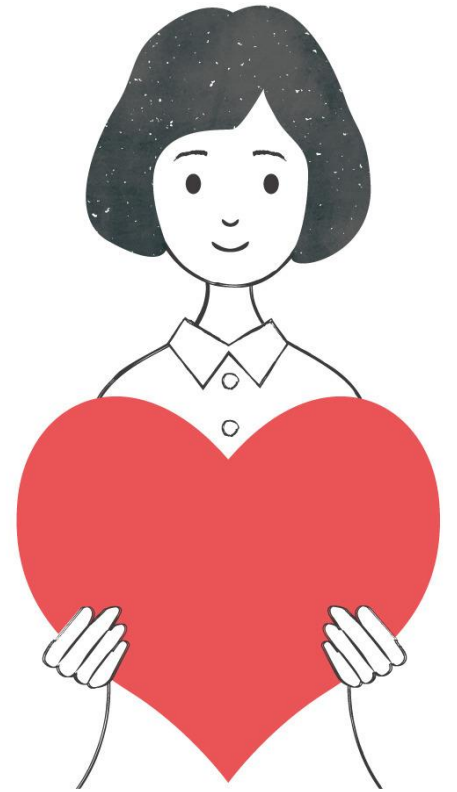
ENVO

ENVOとは？

昭和女子大学の学生による
学生のためのボランティアコーディネーター！！

現在の所属メンバーは約40人で、
各々興味のある活動に励んでいます☆≡

自分たち自身でボランティアに参加するだけでなく、
他学生のボランティアへの参加促進を目指しています。





ENjoy VOunteer

という名前には、
“社会と学生に良い影響を与えながら、
みんなも、自分たちも「**楽しく**」
ボランティア活動ができるように！”
という想いが込められています。

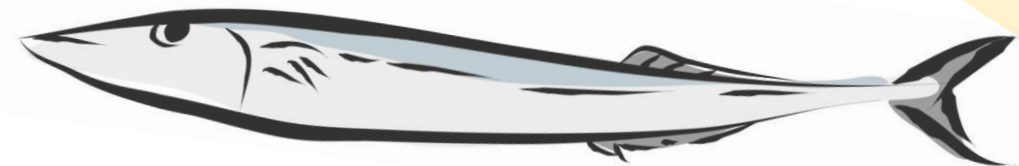
女川町ワークキャンプ

東日本大震災の発生した2011年から、被災地となった宮城県牡鹿郡女川町への復興ボランティアを行っています。

最初は避難所でのボランティア（足湯の提供など）を、現在は地域の方々との交流や、震災を風化させないようにする活動などを中心に行っています。

新型コロナウイルスの影響で訪問できない期間もありましたが、今年（2023年）から再スタートしました！

現在のENVOの代表的な活動となっています。



地域の方々との交流

(2023年9月に実施したワークキャンプでの活動)



町は復興が進みとてもきれいです、
町民の方々の「心の復興」は
まだ課題として残っています。
私たちは町民の方々との交流活動を通し、
皆さんに元気と癒しをお届けできるよう
頑張っています。
町が整備されたからといって
復興が完全に終わったわけではありません。
震災を「過去の出来事」とするのではなく、
女川町の現在の課題とも向き合いながら
今後も交流を続けていきます。

町民のな方は皆さん優しく、
私たちが温かく迎えてくださいます。
帰る頃にはメンバー全員が
女川のが大好きになります♡
ただお話を聞くだけではなく、
私たちの震災体験やキャンパスライ
フを話したり、双方向の交流になる
よう意識しています。



- 女川の食材を使った料理作り
- ペタンク体験
- 保育所、障害者施設でのボランティア
- 砂浜清掃
- 語り部の方のご自宅訪問
- 女川町の写真スポット巡り
- 食事会

など…



震災を風化させないために・・・

* 学ぶ

町民の方から震災体験をお聞きし、遺構の見学を行います。実際に自分自身で震災の悲惨さと、後世に伝えることの重要性を学んでいます。



* 伝える

秋桜祭（学園祭）などで、女川町の震災被害と復興の軌跡を、展示等を通して伝えています。学生や来場者の方に描いていただいた黄色のハンカチは3月11日に女川駅前に飾られます。

女川ワークキャンプの今後の目標

★復興後の女川町の地域活性化

女川町は高齢化が進んでおり、若い世代（特に20代）が少ないです。「観光地」としての観点から、「多くの人に女川町へ来てもらい、魅力を知ってもらうにはどうすればよいのか。」を考え、地域活性化のお手伝い如果可以したいと思います。

★震災を教訓とし、世田谷区の防災意識を向上させる

自然災害はいつ、どこで発生するか分かりません。私たちが女川町で学んだ震災の教訓を活かし、世田谷区の防災意識向上に貢献できたらと思っています。

オリーフ・ルーム（学習支援）

小学生を対象に、自習室と居場所の提供を行っています。
世田谷ボランティア協会さんの協力のもと、
駒澤大学さんと昭和女子大学で活動しています。

活動日は週一（水or金）の15時～17時です。

子どもたちと学習したり、遊んだりしながら
放課後に楽しく過ごすことができる居場所づくり
を目標に活動しています！



そのほかの活動



★青鳥特別支援学校（ブルーバード・カフェ）

大学の近くにある青鳥特別支援学校の生徒さんがお仕事体験をする「ブルーバード・カフェ」のお手伝いができないか計画中です。去年はメニューやコースターのデザインをさせていただきました！
今後はもっと一緒に活動できるようにしたいです。

他にも、他団体さんや世田谷ボランティア協会さんにお声がけいただき、地域イベントの参加なども行っています。
さらに活動を増やせるよう、今後も頑張っていきたいです！